

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 16日		～ R8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24(25)	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R7年 12月 16日		～ R8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全を担保したうえで、子供たちに新たな活動の機会や自信につながる活動を行う機会を多く行っている。 レクが豊富で子供たちが楽しんで参加している。	子供たちの新たな興味や余暇スキル獲得を促すために、週末の遠足、クッキング、ダンスなどのアクティビティ、平日の創作活動などを取り入れている。またご家族や子供たちの要望に沿った活動も取り入れている。	今後も子供たちの新たな興味を見逃さないように、職員間で情報共有しながら、より子供たちの為になる活動を模索していく。 ご家族からの意見を聞く場を設けながら、より希望に沿ったプログラムを提案していく。
2	子供たちの様子をご家族にしっかりと伝え、情報提供を行っている。 また必要な場合には臨時でお電話や面談等での相談を受け付け、ご家族に寄り添った対応をしている。	普段から子供たちの小さな変化も気づいた職員が管理者に報告、それをご家族・職員で共有出来るようにしている。またご家族からの情報もプライバシーの配慮をおこなう形で職員間でも共有するようにしている。 定期的にご家族の様子を全指導員から確認、共有している。	今後も施設内でのコミュニケーション、ご家族とのコミュニケーションをしっかりとりながら寄り添った支援を行っている。
3	職員間での情報共有をしっかりと行い、子供たちについてしっかりと把握したうえで支援を行うことが出来ている。	ミーティングでは活動内容・児童の様子について共有を行い意見検討の場も設けている。	今後もご家族との連携もさらなる強化を目指し、支援の質向上を図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会など開催による、保護者同士の交流機会を設けられていない。	特に要望が無いため、交流機会を設けていなかった。	ご要望があった場合は安全に保護者間交流が出来る体制づくりを考慮したうえで計画していく。
2	地域の人などに開かれた事業運営を図っていない。	機会が無く交流をする場も現状は設けられていない。	地域や支部会などの情報を確認しながら参加・交流の場を持つ機会を模索していく。
3			